

## 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 減災復興政策専攻 博士後期課程 2026年度（令和8年度）4月入学 学生募集要項

2026年（令和8年）4月入学の博士後期課程大学院生を募集します。

兵庫県立大学では、2019年（平成31年）4月に、減災復興政策研究科減災復興政策専攻博士後期課程を設置しました。このたび、2026年（令和8年）4月入学の博士後期課程大学院生を募集します。

減災復興学とは、「減災の総合化」という視点から減災と復興を一体的に捉えて、安全で安心できる社会の持続的発展を目指すための学問体系をいいます。また、この減災復興学に基づき「政策の現場化」において、現場から現場への政策的コミュニケーションを大切にし、研究や教育の社会的還流を目指します。減災復興政策研究科において、これら「減災の総合化」とあらゆる人々に届く「政策の現場化」を大切にするという考え方を科学的な視点から実践しています。

博士後期課程では、減災復興政策を探究する高度な専門性を備えた人材像として「研究者として減災復興政策に関する理論構築ができる能力を有する人材」、「行政、企業、NPO等において、減災復興政策部門で専門性を活かしてリーダーとしての役割を担い、トップに助言できる能力を有する人材」、「国際防災関係機関等において国内外の災害教訓を活かし防災協力に貢献できる能力を有する人材」を育成します。

博士後期課程の修了要件は以下の3点です。カリキュラムや授業科目等については、事前に必ずパンフレットやホームページ等で確認するようにしてください。

- (1) 原則3年以上在籍すること
- (2) 研究科で定める授業科目（基礎科目2単位以上、特別研究12単位、合計14単位以上）を履修すること
- (3) 必要な研究指導を受け博士論文の審査および最終試験に合格すること

### 1 求める学生像

本研究科の博士前期課程を修了し修士の学位を取得した人の他、本学の他研究科または他の大学院において、自然科学分野や社会科学分野などの専門分野で修士の学位を取得し、将来、減災復興学に関する専門家として活躍が期待される人を求めます。減災復興学に関連する学問は多岐に渡るため、出身大学院において身につけた専門的素養をもとに、様々な角度から減災復興学を学修する意欲のある人を入学させます。社会人については、修士の学位に相当あるいはそれ以上の学力を有し、職場での経験をもとに、減災復興学に関する高度な理論を構築する意欲のある人も対象とします。

求める人材像としては、以下のとおりです。

- (1) 本研究科の3つの領域を理解し、それを基盤に減災復興学に関する高度な理論を構築する意欲のある人
- (2) 減災復興学に関連する分野で行政、企業、NPO、研究機関等で勤務した十分な実績を有しており、その理論化、体系化を図る意欲のある人
- (3) 国際防災協力を理解するとともに、英語力にも長け、国際舞台で活躍する意欲のある人

入学にあたって必要とされる能力（アドミッションポリシー）

#### (1) 知識・技能

博士前期課程修了相当の減災復興学の専門性と教養を身につけ、自らの思考・判断の過程や結果を論理的に説明するに必要な知識・技能を

有している。

(2) 思考力・判断力・表現力

自らの課題を探究する上で、博士前期課程修了に相当する程度の思考力と判断力があり、自身の考えを表現するコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力、および表現力を有している。

(3) 主体性・多様性・独創性

自らの研究課題に取り組む上で、主体的な姿勢を持ち、多様な文化や価値観を尊重した上で、独創的な研究に取り組む素養を有している。

## 2 募集人員

2名

## 3 出願資格

兵庫県立大学大学院学則第 19 条第 2 項のいずれかに該当する者及び 2026 年（令和 8 年）3 月 31 日までに該当する見込みの者

大学院学則第 19 条第 2 項

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、第 4 号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（注）
- (8) 大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達した者（注）

（注）（7）、（8）に該当する者は、出願資格認定の事前審査を行う。詳細は「11 出願資格認定」を参照。

なお、留学生など日本語を母国語としない学生については、本研究科の教育課程が日本語で実施されるため、一定の日本語能力（公益財団法人日本国際教育支援協会、独立行政法人国際交流基金または公益財団法人交流協会が実施する「日本語能力試験（N2）」に合格、またはそれと同等の日本語能力）を応募の条件とする。

ただし、日本語能力試験の結果を提出できない場合は、英語能力（TOEFL iBT あるいは TOEIC のスコア）を証明する書類を提出することで出願することが出来る。

## 4 願書受付期間

2025 年（令和 7 年）8 月 8 日（金）から 2025 年（令和 7 年）8 月 27 日（水）

まで（必着）

## 5 出願手続

(1) 下記の書類等に入学考査料 30,000 円（ゆうちょ銀行または郵便局が 2025 年（令和 7 年）6 月 1 日以降に振り出した「普通為替証書」によること。ただし、証書には何も記入しないこと）を添えて、兵庫県立大学神戸防災キャンパス経営部総務学務課に簡易書留にて郵送してください。

ただし、本学大学院研究科修士課程又は博士前期課程を修了し、引き続き本研究科博士後期課程に進学する者については入学考査料は不要。

なお、出願資格(7)、(8)に基づき入学資格の事前審査を申請した志願者については、その際に提出した書類については、再度提出する必要はありません。

(2) 出願を希望する者は事前に必ず指導を希望する教員と面談し、博士後期課程研究計画書について相談してください。

(3) 出願書類

- 入学願書（様式 1）
- 写真 2 枚（入学願書の所定欄に出願前 3 か月以内に撮影したものを貼付。サイズ：縦 4cm×横 3cm）
- 博士後期課程研究計画書(様式 2)
- 修士の学位論文等（様式 4）  
※修士の学位論文の要旨（2,000 字程度）、又はそれに相当する研究概要（2,000 字程度）を提出すること。
- 出身大学院、出身大学もしくは出身専修学校等の成績証明書（コピー不可。修了見込者及び学位授与見込者は、出願前 3 か月以内に発行したものに限り。和文又は英文以外の証明書は、和文訳を添付すること。）
- 修士課程の修了証明書、修了見込証明書または学位授与証明書（コピー不可。和文又は英文以外の証明書は、和文訳を添付すること。）
- 留学生など日本語を母国語としない学生については、日本語能力（公益財団法人日本国際教育支援協会、独立行政法人国際交流基金が実施する「日本語能力試験」の N 2 以上、またはそれと同等以上）を証明する書類。日本語能力試験の結果を提出できない場合は、英語能力（TOEFL iBT あるいは TOEIC のスコア）を証明する書類。
- 返送先の住所・氏名を記入した受験票返送用長形 3 号封筒（切手 320 円を貼付）。海外への送付を希望する場合は別途大学が指定する金額の送金小切手を送付するものとする。  
※外国人留学生は、住民票の写し（コピー不可。出願前 3 か月以内に発行したもの。在留資格、在留期間の記載されたもので、個人番号(マイナンバー)は記載しない。）を提出すること。ただし、住民登録を済ませていない場合は、パスポートのすべてのページの写しを提出すること。

### 【出願先】

※出願書類等は簡易書留にて郵送してください。持参は受け付けません。

〒651-0073

兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2

人と防災未来センター東館 6 階

兵庫県立大学神戸防災キャンパス経営部総務学務課

## 教員連絡先

職名	氏名	電子メール
教授	永野 康行	nagano@drg.u-hyogo.ac.jp
教授	※青田 良介	ryosuke_aota@drg.u-hyogo.ac.jp
教授	馬場 美智子	banba@drg.u-hyogo.ac.jp
教授	阪本 真由美	sakamoto@drg.u-hyogo.ac.jp
教授	浦川 豪	g_urakawa@drg.u-hyogo.ac.jp
准教授	澤田 雅浩	sawada@drg.u-hyogo.ac.jp
准教授	紅谷 昇平	beni@drg.u-hyogo.ac.jp
准教授	谷口 博	taniro@drg.u-hyogo.ac.jp
准教授	平井 敬	hirai.takashi@drg.u-hyogo.ac.jp
准教授	松川 杏寧	anna.matsukawa@drg.u-hyogo.ac.jp

※印の教員は、2026年（令和8年）3月に退職の予定です。

## 6 選抜方法

入学者の選抜は、書類審査（出願書類）、面接審査及び口頭試問の結果を総合して判断します。

## 7 試験科目、試験日時等

### 試験科目

#### （1）書類審査

減災復興学に関する研究計画を研究計画書で確認します。また、学部や修士課程または博士前期課程での防災・減災関連科目の履修状況を確認します。

#### （2）面接審査及び口頭試問

面接審査では、研究計画書等に基づき、減災復興学に関する資質や研究推進能力を総合的に確認します。研究科で行う研究計画については、出願前に希望指導教員と必ず事前打合せをした上で作成し、十分な準備を行ってください。

口頭試問では、希望する研究について一定時間内でプレゼンテーション（パワーポイント利用可）をしていただいた後、減災復興学に関する専門知識と、減災復興学に関する基礎知識と経験に関して質疑応答を行います。

また、外国人の志願者については、日本語又は英語の能力が日常の研究指導および受講に支障がないことを面接審査において確認します。

年月日（曜日）	試験科目等	時間
2025年（令和7年） 9月14日（日）	面接審査及び口頭試問	10:30～（一人30分程度） ※集合時間は、各受験者宛に別途通知します。

（注意）受験者数により終了時間が変更される可能性があります。

### 試験会場

兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

人と防災未来センター東館4階

兵庫県立大学神戸防災キャンパス

（詳細については、受験票とともに通知します。）

## 8 合格発表

2025年（令和7年）9月19日（金）10:00

兵庫県立大学神戸防災キャンパス（大教室前に掲示するとともに、合格者には郵送により通知します。なお、電話による問い合わせには一切応じられません。）

また、減災復興政策研究科のホームページで合格者の受験番号一覧を掲載します。なお、参考情報ですので、本学掲示板又は送付する通知書で正式に確認してください。

ホームページ <https://drg-u-hyogo.jp/guide/g02-02>

## 9 入学料及び授業料（2025年（令和7年）4月1日現在）

納入時期		入学手続時	2026年(令和8年) 5月	2026年(令和8年) 10月	合計
入学料	県内	282,000円			282,000円
	県外	423,000円			423,000円
授業料			267,900円	267,900円	535,800円

(注) (1) 兵庫県公立大学法人の大学授業料等に関する規程が改正された場合は、その金額によります。また、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新しい授業料の額を適用(いわゆる「スライド制」)します。

(2) 上記のうち、県内はア～ウのいずれかに該当する者で、県外はそれ以外の者

ア 入学の日（2026年(令和8年)4月1日）の1年前から引き続き兵庫県内に住所を有する者

イ 配偶者又は1親等の親族が、入学の日の1年前から引き続き兵庫県内に住所を有する者

ウ 入学する者が、本学学部から引き続き大学院博士後期課程に入学する場合

(3) 本学大学院研究科修士課程又は博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に入学する場合は、入学料は不要。

## 10 入学手続

手続期間 2025年（令和7年）9月下旬

入学手続書類は、2025年（令和7年）9月中旬に郵送の予定

## 11 出願資格認定

### (1) 事前審査

「3. 出願資格」の(7)、(8)に該当する者が出願する場合は、出願に先立ち事前審査を実施します。

下記の書類を、2025年（令和7年）7月16日（水）～7月23日（水）（必着）に、兵庫県立大学神戸防災キャンパス経営部総務学務課まで、簡易書留で封筒に「出願資格事前審査書類在中」と朱書きして郵送してください。

① 出願資格認定審査申請書（本学所定の様式3）

② 卒業証明書（最終出身学校）

③ 成績証明書（最終出身学校）

※ ②③について、和文又は英文以外の証明書は、和文訳を添付すること。

④ 修士の学位論文等（本学所定の様式4）修士の学位論文の要旨（2,000字程度）、又はそれに相当する研究概要（2,000字程度）を提出して下さい。

⑤ 審査結果通知用封筒（長形3号封筒に郵便切手320円を貼り、返送先の住所・氏名を記入したもの。海外への送付を希望する場合は別途

大学が指定する金額の送金小切手を送付するものとする。)

## (2) 出願手続

出願資格認定の審査結果は、郵送にて 2025 年 (令和 7 年) 8 月 8 日 (金) までに本人あてに通知します。認定された者は、願書受付期間中に所定の書類を整え提出し、出願手続をしてください。

## 12 長期履修制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限 (3 年) では教育課程の履修が困難な者を対象に長期履修制度を設けています。

出願資格及び出願期間等詳細については、減災復興政策研究科ホームページの「長期履修制度」をご覧ください。

## 13 注意事項

- (1) 納付された入学考査料は、理由のいかんにかかわらず返還しません。
- (2) 授業はすべて日本語で行われるので、外国人受験者で日本語の能力が十分でない者は、日本語の予備教育を受けておくことを推奨します。
- (3) 外国人学生は、在学中の学費・生活費等について、自ら責任を持って準備する必要があります。
- (4) 授業は原則として平日の日中に行われるので、社会人学生として在学を希望する者は、自らの責任で勤務先と相談しておくことを推奨します。
- (5) 障がい等を有する志願者との事前協議  
障がいがある者等で、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合には、出願前の 2025 年 (令和 7 年) 7 月 16 日 (水) から 23 日 (水) までの期間に申し出ること。協議申請書 (様式 5) (医師の診断書等必要書類添付) を提出し、必要な場合、本学において申請者又はその立場を代弁しうる関係者等との面談を行います。
- (6) 感染症の流行に伴い、受験者には感染予防対策 (手洗い、消毒、マスク着用等) へのご協力をお願いする場合があります。また、入試方法が変更される可能性もあります。詳細については、本研究科ホームページに掲載すると共に、受験者に直接ご連絡します。
- (7) 兵庫県立大学では、BYOD (Bring your own device) を推進しており、学生は入学時にノート PC を準備する必要があります。また、本学はマイクロソフト社とライセンス契約を締結しているため、在学中は Microsoft Office の最新版を無償ダウンロードできます。

## 14 連絡・問合せ先

兵庫県立大学神戸防災キャンパス経営部総務学務課

T E L : 078-891-7379 (平日 10:00~12:00、13:00~17:00)

E-mail : gensai@ofc.u-hyogo.ac.jp

## 様式リスト

減災復興政策研究科ホームページからダウンロードの上ご使用ください。

様式1 入学願書

様式2 博士後期課程研究計画書

様式3 出願資格認定審査申請書

様式4 修士の学位論文等

様式5 協議申請書